

令和2年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市塩山B&G海洋センター				検証日	令和3年7月13日
	所管課担当名	生涯学習課 スポーツ振興・東京オリンピック対策担当	課長名	辻 学	作成者名	保坂 佳正	
	指定管理者	名称	株式会社 フィッツ				
		代表者	代表取締役 清水正倫				
		所在地	山梨県甲斐市玉川181番地				
		指定期間	令和2年(2020年)4月 ~ 令和3年(2021年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	甲州市塩山小屋敷1888番地3				
		設置目的	市民の健康増進及び青少年の健全育成を図るために、財団法人ブルーシー・アンド・クリーンランド財団から無償譲渡を受けた甲州市B&G海洋センターを設置する。				
		利用者	市民及び市民以外	施設管理体制	12名	開館日時間等	9:00~21:00 (土日祝日・年末年始・臨時休館を除く)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1) 海洋センターの利用の許可に関すること (2) 海洋センターの施設及び設備器具の維持保全に関すること (3) 海洋センターの管理に関し教育委員会が必要と認めること					
自主事業		(1) スイミングスクール・夏休み水泳教室(幼児~高校生) (2) 大人のための各種スポーツ教室(ヨガ・足ひれ水泳教室・アクティブシェイプ等) (3) 泳力検定会(ハジテスト等) (4) 市内宿泊地を利用した市内外合宿誘致(山梨県水泳連盟強化合宿等) (5) トレーニングマシンを使った教室 (6) 水の安全教室(市内保育園、小中学校への講師派遣) (7) カヌー・サップ教室 (8) 着衣泳・防災教室(県内B&G指導者会と連携)					
DO	管理運営コスト推移(千円)	平成28年度(指定期間1年目)	平成29年度(指定期間2年目)	平成30年度(指定期間3年目)	令和元年度(指定期間4年目)	令和2年度(指定期間5年目)	
	予算	指定管理料	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
		利用料金収入	2,650	2,700	2,700	2,800	2,800
		その他収入	14,810	15,060	15,060	16,600	16,600
		管理運営経費	41,300	41,550	41,550	44,400	44,400
	決算	指定管理料	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
		利用料金収入	3,020	2,645	2,816	2,223	1,607
		その他収入	18,275	17,947	16,471	16,194	13,292
		管理運営経費	44,228	43,587	43,328	45,418	40,291
	収支	2,067	2,005	959	-2,000	-391	
施設の稼働状況	平成28年度(指定期間1年目)	平成29年度(指定期間2年目)	平成30年度(指定期間3年目)	令和元年度(指定期間4年目)	令和2年度(指定期間5年目)		
指標	温水プール利用者数(人)	29,463	29,679	28,906	25,799	20,991	
	トレーニングルーム利用者数(人)	5,007	5,578	5,382	4,940	3,099	
活動結果	コロナ禍であるが、適正な管理運営や様々な自主事業の実施等により、利用者数の確保ができています。						
CHECK	評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明				
	(1) 事業の運営	4	コロナの影響により休館期間があったが、基本協定書及び事業計画書の通り適切に管理運営が行われている。 ※所管課と連携を取りながら自主事業の拡大を積極的に開催した。				
	(2) 施設の維持管理	4	施設内の設備等について定期的に点検等を実施する中で適正な維持管理に努めている。 衛生管理の徹底や職員への研修実施によるスキルアップなどが図られている。				
	(3) 収入支出	2	コロナの影響により休館等による収入が減となったが、自主事業を積極的に開催し、収支を維持している。 ※4、5月分については、コロナの影響により休館していたため、利用者数及び収入も減となった。				
	(4) 総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)					
優良 良好 妥当 要改善 不適	妥当		基本協定書及び事業計画書の通り適切に管理運営が行われている。				
ACTION	評価結果に対する今後の対応						
	当面の課題	・コロナ禍において、感染対策を十分に行いながら新規自主事業を所管課と検討することにより、環境下にあった自主事業を推進させていく。					
課題解決への対応	・施設の衛生面及び整備向上をはかる中で、アンケート結果を反映した自主事業計画を策定し、参加者の少ない事業等も見直す中で、更なる利用者増を図る。						
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)							
・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。 ・コロナの影響で令和2年3月から5月まで休館であり、利用収入・利用人数が減少したが、経費削減や所管課と打ち合わせを行う中で、自主事業の拡大を積極的に行ったことはとても評価できる。 ・利用者へのアンケートを実施し、利用者の意見への対応など、サービスの向上に努めている。							